

<p><b>学校の特徴</b></p>	<p>本校は全日制普通科高校として昭和58年に開校し、平成15年に河瀬中学校を併設しました。「志成」を校訓とし、生徒が希望する進路を実現できる確かな学力とたくましさ育てる「魅力と活力ある進学校」として、未来社会に貢献できる人材の育成を目指しています。(。)</p>
<p><b>地域の特徴</b></p>	<p>琵琶湖の東岸、湖東平野の北西、彦根市郊外の自然豊かな地域に本校は位置しています。農業が盛んに行われている地域でありながら、工場や大学等の高等教育機関も多数位置することから、地域をキャンパスとして、体験学習や地域連携の取組を積極的に進めています。</p>
<p><b>活動内容</b></p>	<p>併設型中高一貫教育校の特色を活かしつつ、中高一貫で生徒を見守り育てる視点から、中長期的なビジョンのもと、様々な取組を進めています。研修旅行での大学訪問による進路学習や、生とともに汗を流す環境整備活動を実施しています。</p>

### 特徴的な活動・運営体制

#### 中高合同で生徒・保護者・教職員が協働する楽しい「参加型」PTA総会

本校のPTA総会は、全国レベルで活躍する吹奏楽部の演奏会で始まります。総会后には、文化講演会や学年懇談会等が開催され、生徒・保護者・教職員が参加したくなる仕掛けを盛り込んでいます。中学校・高校合同で開催している点も本校ならではの特色です。



#### 「心触れ合う」あいさつ運動

本校のPTAの生徒指導委員会では、主に月1回、生徒会執行部や教職員と共同してあいさつ運動を実施しています。



#### 「出会う」・「つながる」・「ひろがる」を実現するPTAラウンジ

本校の体育祭においては、保護者が自由に学校や子供たちの学校生活について意見交流が行える「PTAラウンジ」という場を設定しています。

#### ○学校行事における地域や企業等と連携

本校の文化祭では、PTAと地域の飲食店が連携し、模擬店を出店しています。生徒たちの模擬店に交じり、保護者と地元企業等が協働して行事を盛り上げています。



#### ○「心をつなぐ」親子清掃活動の実施

例年、真夏の8月に実施する環境整備作業を、本校では生徒・保護者・教職員が協力して実施しています。



親子で汗をかきながら、愛校心を育みます。



### 成果

- ・趣向を凝らした企画とセットにすることにより、PTA総会の参加者は増え続けている。
- ・文化祭や体育祭などの学校行事に、保護者や地域(飲食店等)の企画が入ることにより、「参加してみたい」と思えるPTA行事が増えた。
- ・PTA研修旅行に、保護者からの要望が多い大学を含めることにより参加が増加するとともに生徒の進路実現に向けた共通理解が高まった。

### 課題

- ・県立学校である本校は、市町村立の公立学校とは異なり、校区が広いため地域と連携・協力した活動については常に開拓を続ける必要がある。調整力と企画力が求められる。
- ・併設型中高一貫教育校のPTAとしてのさらなる魅力や独自性の創出のための工夫が必要である。

# 宇治田原町立維孝館中学校PTA

人がつながる 未来につながる まちぐるみの教育を支える PTA

所在地：京都府綴喜郡宇治田原町岩山小字沼尻4番地  
 全校生徒数：246名

<b>学校の特徴</b>	昭和22年に開校し、平成30年度には創立72年という歴史と伝統を持つ、宇治田原町唯一の中学校である。「知・徳・体の調和のとれた体系的な教育をすすめ、家庭・地域と協働する学校づくり」を学校経営方針とし、「維孝館学園」として、小中一貫教育を推進している。
<b>地域の特徴</b>	我が国の緑茶発祥の地であり、緑豊かな茶畑や山に囲まれ、また、工業団地や住宅開発が進むなど、茶文化の継承と地域振興のバランスがとれた地域である。町の社会教育委員と連携を図り、地域全体で子どもの健全育成を推進している。
<b>活動内容</b>	学校・家庭・地域と連携・協働しながら、子どもの健全育成に向けて「あいさつ・声かけ運動」に取り組んでいる。また、子どもの体験学習支援や学校行事支援、さらには、他校種と連携しての合同研修会の開催などを実施している。

## PTA・学校・地域で取り組む「あいさつ・声かけ運動」

### 「あいさつ・声かけ7か条」

あいさつは、にこやかな笑顔で行い、子どもにあいさつを強要しないなどの内容を盛り込み、心からのコミュニケーションを提唱している。

PTA

### 子ども・教職員の自主的参加

毎朝、多くの教職員が登校指導を兼ねて「あいさつ・声かけ運動」を行い、小学校の児童会本部役員児童も自主的に参加している。

#### 親子で取り組む「あいさつ川柳」(生徒)



#### 親子で取り組む「あいさつ川柳」(保護者)



地域

### 親子で取り組む「あいさつ川柳」

親子であいさつする意識が高まることを目標にして実施している。生徒、保護者から川柳を募集し、優秀作品を学校公開日に表彰している。

学校

### ○体験学習「ふれあい教室」の支援

宇治田原町小中一貫教育の柱の一つである「ふるさと学習」において、郷土の食材を使った料理作り、煎茶のお点前、茶香服などの体験学習（ふれあい教室）の支援を行っている。



### ○「小中学校PTA合同家庭教育セミナー」の開催

今日の子どもの現状や子育てのあり方などを学ぶために、思春期の子どもへの対応や大学受験制度の改革等をテーマとした講演を含む「3小中学校PTA合同家庭教育セミナー」を開催した。



### ○「あいさつ・声かけ運動」の拡大

平成30年度、PTA指導者研修会において、「あいさつ・声かけ運動」を拡げていくため、宇治田原町社会教育委員から実践を発表する予定となっている。

### 成果

- ・あいさつ運動を毎月2回実施しており、生徒も進んであいさつをするようになってきた。
- ・生徒と保護者にあいさつに関わる川柳を募集（生徒は全員参加）し、優秀作品を横断幕にすることができた。
- ・ふれあい教室等をつうじて、保護者が生徒の活動の支援をする機会が増えた。

### 課題

- ・役員・委員以外の参加等活動の広がりが今後の課題である。

【京都府教育庁指導部社会教育課】

# 大阪市立長池小学校 P T A



～学校をもっと身近に 今しか楽しめないことがある！～

所在地：大阪府大阪市阿倍野区  
全校児童数：373名

<b>学校の特徴</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度(2019年度)に創立90周年を迎える歴史と伝統のある小学校。</li> <li>一人ひとりの個性を大切に、それを発揮して相互に関わり合い、その協働のなか、最後までねばり強く取り組む子どもの育成をめざし、学校・家庭・地域の三者一体となった教育を進めている。</li> <li>6年生をリーダーとした「たてわり班(ふれあい班)」を毎年編成し、ナックカーニバル(子どもまつり)、田辺大根づくり、ふれあい遠足など様々な取り組みをしている。</li> </ul>
<b>地域の特徴</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本一高いビル「あべのハルカス」のふもとに位置する阿倍野区でありながら、昭和の趣のある長屋が多く残る下町であり、池や公園がたくさんある自然豊かな地域である。</li> <li>地域の方々も、子どもたちや学校への関心が高く、子どもたちの見守りなど支援の体制が整っている。</li> </ul>

## 活動内容

**特徴的な活動**

郷土野菜  
田辺の大ちゃん

長池小マスコット  
ナックちゃん

### ポイント制度

★「一人一役」  
一人一人の負担を平等にし、活動の活性化と魅力あるPTAをめざすことを目的とする

**ポイント制度導入**

児童1人に対して6年間に最低2ポイントを達成

- PTA会長などの役員
- 会計監査委員
- 実行委員(各委員会の委員長)

- 常置委員  
(広報、教養、保健・体育、学級  
青少年活動の各委員会の委員)

一年間の活動で、2ポイント獲得!

一年間の活動で、1ポイント獲得!

### スポットスタッフ制度

自主的に進んで行う取り組みのもと、無理なくちょっとしたお手伝いという精神から全員が「学校」や「地域」に関連するPTA活動へかかわるシステム

- スタンプ10個集めて1ポイント獲得
- 学期ごとにお手紙で募集を実施
- 定員のある活動と定員のない活動を設定

大人のご家族なら、誰でもスポットスタッフとして活動可能

●定員のある活動

- 事前にお手紙で募集して、応募者多数の場合は抽選を実施。抽選は高学年(5、6年生)を優先とする

●定員のない活動

- 事前にお手紙で連絡し、活動日当日、所定の時間・場所に集まっていたく

～主な活動(PTC：保護者+学校教職員+地域)～ ※赤字：スポットスタッフが活躍!!

学校

- 田辺大根まつり
- 運動会やその他の行事の後片付け
- 校内清掃

地域

- 長池地活協ふれあいフェスティバル
- もちつき大会(子ども会)
- 校庭の一部芝生化(芝生化委員会)

- 愛のネットワーク
- 山阪神社 夏祭り巡視

児童が育てた田辺大根を1,000人前のお味噌汁に!!

みんなで運動会の後片付け

愛のネットワーク 集団下校

山阪神社 巡視

フェスティバル出店(みたらし団子やお菓子など)

笑顔と緑あふれる小学校!

### 成果と課題

- ◆活動には、児童と一緒に楽しみながら、かつポイントが貯まる満足感もあり、多くの方に積極的に参加していただいている。
- ◆年度替わりのポイント整理に、役員の作業時間を費やしているため、システム化して効率的な作業を実施したい。

【大阪府教育庁市町村教育室地域教育振興課】

# 洲本市立洲本第三小学校PTA

<学校・家庭・地域へありがとう！感謝の気持ちがPTCA活動の極意！！>

所在地：兵庫県洲本市  
全校生徒数：455名

<b>学校の特徴</b>	本校は大正9年4月に物部校、潮校を移築して現在の場所に洲本町立洲本第三尋常高等小学校として設立された。平成7年に完成した現在の南校舎は海に浮かぶ船をイメージして建設されたもので、幅約5mの廊下と教室の壁が可動式になるなど、居住空間にゆとりを持たせたものとなっている。児童会の活動も活発で、児童会主催の行事を行ったり、ネット・スマホの使い方の啓発ビデオを作成したりするなど、担当教員の指導の下、自主的な活動を行っている。
<b>地域の特徴</b>	本校の校区は、商店街の一部を含んだ商業地域・田畑や山に開発された新しい住宅地域・古くからの住宅、寺院の建ち並ぶ地域・農村地域の4つの地域から構成されている。児童数455名、家庭数359世帯で、淡路島内小学校では最大規模であるが、少子化傾向のなかで児童数は少しずつ減少している。保護者及び地域は教育に対する関心はきわめて高く学校への期待も大きい。PTAと地域と学校が連携した取り組みを積極的に推進している。
<b>活動内容</b>	「子どもたちの明るい未来のために！みんなで一歩前へ！！」を今年度のスローガンとし、年1回の総会、年5回の運営委員会、年10回の本部役員会、総務部、学年部、地域部、専門部(広報部・厚生部)がそれぞれ活動的で実効性のある組織を運営し、子どもたちが主役の活動を展開している。

## 特徴的な活動・運営体制

### 「ふるさとふれあい祭り」

学校・家庭・地域が1つとなる瞬間！

- ・町内会、民生委員、老人クラブ、子ども会等  
いろんな団体が縁の下の力持ちへ！
- ・世代間交流として、伝統文化の継承、地元  
高校生による茶道教室！
- ・地元地域の方々も多数参加！



### PTA広報紙「夢すーさん」

PTA広報部がてがける渾身の作品！

- ・PTA広報紙コンクール 最優秀賞受賞！
- ・年3回発行、8ページにこめた熱き想いの詰まった力作！
- ・子どもたちの投稿スペースありと見どころ 満載！



「すーさん」



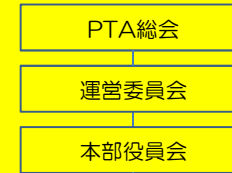
### 持続可能&負担軽減を意識したPTA組織運営

PTA加入率100%！役割分担と効率化！

- ・各々が主体的に運営！
- ・LINEによるハウレンソウ！



「田植え体験」



「子育て講演会」



学年部	地域部 (6地区)	専門部
1年：給食試食会 2年：田植え体験 3年：アジャタ体験 4・5年古本リユース 6年：愛校作業 全学年：ベルマーク回収	・運動会種目の運営 ・通学時の交通立ち番 ・夏の学校水泳の協力 ・心肺蘇生法講習会 ・持久走大会の立ち番 ・廃品回収	厚生部 ・子育て講演会 ・アルミ缶回収 広報部 ・学校事業の取材 ・PTA通信の発行(年3回)

## 成果

- ・洲三小のマスコットキャラクター「すーさん」がみんなの勇気と希望の道しるべ！
- ・「防災マップ」作成により、防災への意識強化！
- ・「洲三こども見守り隊」「交通立ち番」「交通安全教室」により、児童の安全確保へ！
- ・「ふるさとふれあい祭り」から地域の人との世代間交流と顔の見えるつながりづくりへ！
- ・「子育て講演会」開催により、会員相互の学びの場へ！

## 課題

- 学校：事業実施時、PTA役員と教職員との連携強化！
- 家庭：PTA行事への積極的参加の促進！
- 人：次期役員への選出方法の見直しと役員への負担軽減を意識！
- 地域：各種事業を通じて地域とのつながりを常に意識！

# 大和郡山市立郡山南小学校PTA

## < 日本一楽しい学校をめざして! >

所在地:奈良県大和郡山市柳町85番地  
 全校児童数: 629名

<b>学校の特徴</b>	昭和46年開校。郡山小学校を前身とする。児童数増加により分校し、郡山南小学校となる。「ゆ・た・か」な子(ゆ:ゆたかさ た:たくましさ か:かしこさ)を目指す子ども像として、知・徳・体の調和のとれた子どもを育む教育に取り組んでいる。児童数は市内一の規模である。
<b>地域の特徴</b>	豊臣秀長が居城した郡山城の城下町として発展した地域を校区に持つ。JR、近鉄の2つの駅を有し、交通の便もよく商店街や大型店舗が多く並ぶ。城下町としての古き良きたたずまいに混じって、近年、その利便性から大きなマンションが建設されている。その一方、地場産業である金魚池などがひろがる田園風景が見られる。
<b>活動内容</b>	<div style="background-color: #00b050; color: white; padding: 10px; border-radius: 10px; display: inline-block;"> <b>特徴的な活動</b> </div>

### ①大好ききれいな学校!

老朽化した校舎⇒気持ちよく過ごしてほしい!(学校・保護者の願い)  
 「ピカピカプロジェクト」の結成 数名の有志会員が集い活動開始  
 トイレ・手洗い場・エアコン・冷水器の清掃、子どもたちが楽しい気持ちになるように昇降口やトイレに壁画制作等の活動を展開



### ②みんなでいっしょに楽しもう!

毎週水曜日に実施される放課後子ども教室⇒PTA会員の有志がスタッフとして運営のお手伝い  
 1~6年の児童約130名が参加し、運動や学習活動等を通して交流

### ③いっしょに学ぼう!

子どもたちの学習をPTA各委員会や会員が支援⇒様々な学校行事運営の支援をはじめ、家庭科の裁縫学習の支援、生活科の町たんけんの学習で子どもたちのお店や施設などの訪問をサポート、専門分野でゲストティーチャーとして授業に参加など

### ④大好き私たちの町 大和郡山!

本校の北側に隣接する外堀緑地公園に落ち葉やごみの散乱⇒学校だけでなく私たちの町もきれいに! 毎年11月に児童・保護者・地域住民で清掃活動を実施

### ○地域住民と連携した取組

◇伝統文化「白狐おどり」の継承◇  
 白狐おどり保存会のみなさんをゲストティーチャーに迎えて地域学習  
 習った踊りを市のお祭りで発表!



### ○読書活動推進の取組

PTA会員・地域の方が読み聞かせや図書室環境整備のボランティアグループを組織。月2回の読み聞かせ活動や絵本展の開催、図書室環境整備活動を実施!



## 成果

- ・①④の活動により、子どもたちはきれいになることの気持ちよさを感じることができた。また、子どもたちの明るく楽しそうな笑顔が増えた。
- ・②の活動により、子どもたちは、同学年だけではなく異学年とのつながりをつくることができた。また、保護者・地域の方々とのつながりも一層強くなってきた。
- ・③の活動により、子どもたちと保護者だけでなく、保護者同士のつながりと様々な活動に対する協力体制がより強くなってきた。

## 課題

- ・活動が「子どもファースト」であるか、常に点検することが必要である。
- ・活動参加については、母親が大多数を占める。父親の参加も徐々に増えつつあるが、更に参加を伸ばしていきたい。
- ・防災・防犯についての取組を充実させていきたい。

# 和歌山県立和歌山工業高等学校育友会

## ものづくりの精神を育む魅力ある学校に！

所在地：和歌山県和歌山市西浜3-6-1

全校生徒数： 1, 168名

<b>学校の特徴</b>	大正3年に開校した本県を代表する工業高校であり、これまで35,000人を超える卒業生を輩出し、地元産業界に大きく貢献してきた。平成21年度に完成した近代的な施設・設備を誇り、7つの学科それぞれに、実習を中心に急速に進む技術革新に対応するため、地元企業とも連携した専門教育の充実に取り組んでいる。運動部活動も盛んで、多数のクラブがインターハイをはじめとした全国大会に出場している。
<b>地域の特徴</b>	和歌山市は、和歌山県の県都として政治・経済の中心地であり、臨海部を中心に日本を代表する企業の工場があるなど、金属・機械・化学などの製造業の工場が多く、本校卒業生の約6割がこのような地元企業に技術者として就職している。
<b>活動内容</b>	工業高校生らしいタフで優しさのある人財に育てることを念頭に、学校と連携し会員相互の情報交換を大切にした活動に力を入れている。

### 特徴的な活動

#### 「ものづくり」を探究する生徒の育成を応援！

**【イノベーションの流れを実感できる学習環境づくり】**  
近年のめまぐるしい技術革新に対応できるよう、生徒が直接ものづくりに利用できる最新の機器を購入し、実習等で積極的に活用するよう支援している。また、購入した機器を使って未来の工業高校の生徒になる地域の小学生向けの体験学習等を開催するよう学校に協力を求めている。



新規導入3Dプリンターの贈呈式

#### 【和工Myカレンダーの作成・配布】

学校行事だけでなく工業高校生として必要となる資格取得の日程を盛り込んだ学校独自のカレンダーを学校と協力して作成し、全家庭に配布することで、保護者と共に技術習得を支える環境づくりに取り組んでいる。

### 成果

- 最新機器や部活動の用具の購入で、教職員と生徒のモチベーションがアップしてきた。
- 教職員との協働による取組の充実により、生徒・保護者の学校への愛着が高まりをみせてきている。
- 工業高校生としての自覚を高め、ものづくりを探究する精神が高まってきている。

#### ○生徒とともにある活動の推進

体育大会や文化祭で、保護者が生徒と一緒に活動することでの一体感を大切にしている。



#### ○頑張る生徒への積極的な激励・支援

生徒の活動に必要な物品の購入などを通して、部活動や生徒会活動で頑張る生徒を積極的に激励・支援する機会を大切にしている。



ヨット進水式

#### ○その他の活動

- ・学科ごとの保護者懇談会
- ・進路説明会の開催
- ・企業説明会への参加
- ・緊急時メール配信システムの構築

### 課題

- \* 一般会員のより積極的な参画を生み出せるような事業の工夫
- \* 育友会の願いを学校や地域とさらに共有できる機会づくり

【和歌山県教育委員会生涯学習課】

# 鳥取市立若葉台小学校愛育会

## 愛ある家庭 楽しい学校 心の通い合う地域

所在地：鳥取県鳥取市  
全校児童数：242名

### 学校の特徴

鳥取市の南部に位置し、鳥取新都市(津ノ井ニュータウン)内の新興住宅地の中に、平成9年4月に新設された小学校で、創立22年になる。創立以来、地域の学校をみんなで創り上げようと学校・保護者・地域が連携している

### 地域の特徴

若葉台小学校校区は、鳥取市津ノ井ニュータウン新学園都市として開発され、「生活・生産・教育・文化」などの複合的な機能を備えたコミュニティで、地区住民が交流しながら新しい伝統を創り出している。

### 活動内容

#### 特徴的な活動・運営体制

組織を愛育会と名づけ、月に1回執行部会・役員会、定期的に各専門委員会(総務・人権・スポレク・広報・地域)が行われ、教員を含めた積極的な意見交換がなされている。各専門委員会には、特定の人に負担が偏ることを解消するために各専門員会担当として副会長が配置され、従来の部長制を廃止し、3人(低・中・高学年)のリーダーが会員の意見を取りまとめ、各専門委員会主催の活動が充実するように努めている。

#### 参加型人権学習・環境学習・ふれあい学習を3本柱に 家庭と学校と地域が協力する取組

### 愛育会フェスティバル

「さあ！はじめよう わたしたちの手で “愛の花” いっぱい」

- スポレク委員会・・・若葉台にぎわいマーケット(フリーマーケット等)
- 人権教育委員会・・・わかば食堂
- 地域委員会・・・段ボールdeフリスビー&ダーツゲーム
- 総務委員会・・・ベルマークは宝もの 視覚障がい体験コーナー
- 愛育会OB・・・若葉台車輪ピック(車輪転がしのタイムを競う)
- 自主防災会・・・消火体験コーナー
- 木もれ陽プロジェクト・・・なんでも工作隊(竹細工、丸太切り等)
- Emu♪ミニコンサート(卒業生のデュオ)



12月の人権週間に、開校3年目より18年間続いている。PTA・地域が中心となり、「見て！触れて！取組もう！」を目標に実施している。実際に体験してみると、子どもたちの互いに尊重し合い、思いやりの心を育てている。

### 成果と課題

平成30年度は、地域ができて30年、開校22年という歴史の浅い校区であるが、学校行事や愛育会活動等が充実した取組になるように、地域の各団体・愛育会OB等が連携し協働する体制が定着してきている。少子高齢化という地域課題を抱えているが、今後、学校・保護者・地域の三者が互いに創意工夫しながら、さらに連携・協働し、心の通い合う地域になるよう取り組んでいきたい。

### 地域住民と連携した取組～ホッとちょっと愛育会～

- ◆「みんなであいさつDAY」の取組  
各丁区ごとの腕章をつけ、子どもたちに同じ丁区に住む大人であると認識できる工夫をし、安心感と感謝、町への愛着や誇りをもつことに繋がっている。
- ◆「わかば若竹音頭」伝承グループとの交流  
地域住民の作曲「わかば若竹踊り」に地域住民が振り付けをし、運動会で児童と保護者・地域の人と共に踊った。これは、児童と地域住民との交流を深める機会となり、地域の活性化や地域に愛着を持つ児童の育成につながっている。
- ◆読み聞かせボランティアの取組  
保護者ボランティアを募集し、朝読書の時間に読み聞かせをしている。また、校区にある鳥取環境大学の学生にも読み聞かせボランティアとして参加していただき協力を得ている。
- ◆一輪車点検・整備  
地域の自転車店に協力をお願いして、学校の一輪車の点検をしていただいている。その後、愛育会スポレク委員会を中心に一輪車整備をして、子どもたちが安全に遊ぶことのできるよう取り組んでいる。
- ◆花いっぱい運動  
地域の方のアドバイスを受けながら、花の苗植え「花いっぱい運動」を実施し、学校に花があふれる環境づくりを行っている。



### 「地域みんなに読んでいただける広報誌」

広報部が広報誌「カリヨンのひびき」を発行し、地域全戸に配布している。子どもたちの活動の様子や学校行事の紹介、保護者・地域との関わり等を掲載している。親子アンケート等を活用し、ニーズに沿う内容を取り上げており、学校・家庭・地域を結ぶ広報誌となっている。また、創立10周年・20周年を記念し「若葉のように」を発行し、学校の歩みを残すとともに、卒業生や在校生の思いや記念事業の様子、学校と地域の未来を考える座談会の様子を収録している。



# 大田市立第三中学校PTA

## <めぐもり ひろがり つながり>

所在地：島根県大田市  
全校生徒数：生徒 23 名

学校の特徴	昭和 49 年大田市立大森中学校と大田市立祖式中学校が統合して、大田市立第三中学校として発足した。平成 7 年には大田市立大代中学校が統合され、現在の 4 町を校区とするに至った。校地内に登り窯が設置されており、毎年、地域指導者の協力を得て、窯芸活動を実施し、50 年以上続く本校の伝統行事になっている。
地域の特徴	大田市の南西部に位置し、古くから陶土の産地として知られ、瓦工業が盛んな地域である。校区には世界遺産（世界文化遺産）である「石見銀山遺跡とその文化的景観」を有しており、毎年県内外から多くの観光客が訪れている。各町にはそれぞれ伝統芸能や伝統行事があり、保護者や生徒が継承に努めている。
活動内容	次の 2 つの専門部に全会員が所属するとともに、年 2 回の親睦会、各学年での PTA 活動を行っている。 ・育成研修部…6 月環境整備活動、8 月全校奉仕活動、11 月人権講演会、給食試食会の企画 ・文化活動部…7 月、3 月 PTA 広報紙発行、6 月 PTA 窯芸教室、文化祭 PTA バザー開催

### 特徴的な活動・運営体制

#### ○特徴的な活動…伝統の窯芸活動

大田三中の敷地内には登り窯が設置されており、毎年 6 月には PTA の窯芸教室を公民館と連携して開催し、会員相互や地域の方との親睦交流を図っている。また、7 月には素焼き、8 月には本焼きを生徒が実施して作品を完成させるが、生徒はローテーションで一晩中登り窯の温度を管理し、計画通りに温度を上げていく。素焼きは最高温度 850℃、本焼きは 1250℃以上を目指して燃料の木材を入れ続ける。PTA は食事の準備と片付けや窯の温度管理に協力し、生徒の活動を物心両面で支援している。

○運営体制…生徒の減少により保護者は 20 世帯しかなく、各世帯から 1 人では十分な PTA 活動ができない。可能な範囲で各家庭より男性保護者 1 名、女性保護者 1 名の参加をお願いしている。今年度は 20 世帯より 37 名の保護者に参加いただき、各部会の運営を行っている。



#### OPTA による講演会での支援

##### ・キャリア教育の推進…

学校では年に 2 回の職業人講話を実施している。昨年度は保護者も講師として参加し、「これまでの経験で、中学生に伝えたいこと」、「中学時代に学ぶべきこと、身につけておきたいこと」、「今の仕事を志した理由やこれからの目標」等について伝えた。

##### ・振り返り活動を通して…

大田三中では講演会の終末部分で生徒のグループワークによる振り返りを実施している。この生徒の振り返りに、保護者も加わり振り返ることで、生徒同士の関わり合いや深い学びに繋がるようにしている。



#### 成果

・生徒数の減少による PTA 世帯数は減少しているが、各世帯より複数の保護者が活動に参加することにより、これまで通りの活動が維持、継続している。また、生徒が焼き上げる過程で他の保護者の話を聞いたり、行事の振り返りに保護者が入ったりすることで、生徒と各保護者、保護者同士の結びつきが強くなったと感じる。

#### 課題

・PTA 数の減少に伴い、今年度、組織や役員選出の方法を改変した。今後も同様の傾向が見られるため、一人ひとりの役割や経済的な負担の増加が課題である。

【 島 根 県 教 育 庁 社 会 教 育 】



# 高梁市立高梁小学校PTA

郷土を愛し、人を愛し、夢に向かってたくましく生きる子どもの育成

所在地:岡山県高梁市  
全校児童数:児童344名

学校の特徴	本校は、備中松山城のある臥牛山をはじめとする山々に囲まれた歴史と文化の町、高梁市の中心部に位置している。玄関には、明治4年の開校頃からの「高梁学舎」の表札(松山藩主 板倉勝静 書)が今も掲げられ、児童の成長を見守っている。「心美しく、たくましく」を校訓として、学力の向上や落ち着いた学習環境の確保に向け、児童・保護者・教職員が一体となって取り組んでいる。
地域の特徴	城下町として栄え、古い町並みには現在も武家屋敷や寺社等の歴史的建造物が点在している。地域の方々の学校教育への関心が高く、学校行事やPTA活動に協力的である。長寿会や大学、高等学校から、ボランティア(年間のべ350名程度)として学習支援等を受けている。
活動内容	地域の特色を生かした文化学習・交流活動や創意工夫を凝らした学級単位(12学級)での親子学習・交流学習、児童の登校時の見守り活動や保育園、幼稚園、中学校と連携した「早寝・早起き・朝ごはん運動」「スマホ・メディアコントロール」等の取組を行っている。

## 運営体制

### ○PTA活動の充実を目指した組織体制

広報委員会、児童委員会、文化委員会、事業委員会の4委員会と学級PTA(12学級)を設置し、活動の骨子に基づいて活動を企画・運営している。各委員会には、保護者と教職員の両者が所属することで、連携協力がしやすい体制を整備している。

また、各地区から選出した幹事(35名)を各委員会に振り分けることで、地域の協力を得やすい環境を整備している。

### ○地域との連携協力体制

研修活動や交流活動では、公共施設(消防署・警察署・公民館・図書館等)や地域資源を積極的に活用することで、PTAと地域とが連携を深められるようにしている。

また、地域の青少年健全育成活動にPTAとして協力している。

## 特徴的な活動



【化石発掘体験】

### ○地域資源を生かしたPTA活動

年2回、文化委員会主催の体験活動を実施している。地域資源や地域人材を活用し、子どもも保護者も体験活動を通して学んでいる。活動をする中で、地域の方々との交流や会員相互の親睦を深めるとともに、地域のよさやすばらしさを再発見している。

### ○企業や団体、施設と連携した学級PTA活動

学級PTA活動では、企業や地域団体を講師に招いたり、公共施設を利用したりするなど、積極的に地域と連携を図り、児童の学習支援の一助となるように努めている。(消防署見学や新聞作り等)



【ハッパ-ガ-作り】

### ○生活習慣の確立に向けたPTAぐるみの活動

年間4回、幼稚園や保育園と連携し、「さわやかカード」を活用し、家庭での「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が定着するよう継続的な取組を実施している。

また、中学校の試験週間に合わせ、「ノーメディアデー」を設定し、スマホ・メディアコントロールの推進に努めている。

### ○地域と連携した見守り活動

PTAの児童委員会と地域ボランティアとが連携して登校時の見守り活動を実施したり、「備中松山おどり」等の地域行事が開催される際、見守り活動を行ったり、児童の学校外での安全安心の確保に努めている。

## 成果

- ・学校と連携を図りながら、学力向上の基盤となる生活リズム向上や読書習慣の定着などに取り組み、成果をあげている。(「早寝・早起き・朝ごはん」「うちどく(家庭での読書)」の定着)
- ・地域資源や地域人材を積極的に活用したことで、ねらい通りに地域のよさに改めて気づく機会とすることができ、参加者の満足度も高い企画となった。

## 課題

- ・核家族化や共働き家庭の増加に伴い、保護者がPTA活動に参加できない様子が一部では見られるため、今後は活動の効率化や精選を図りながら活動内容をさらに工夫していきたい。

【岡山県教育委員会生涯学習課】

# 広島市立神崎小学校PTA

## 地域と連携した「まちぐるみの教育」の推進

所在地：広島県広島市中区  
全校生徒数：児童 480名

学校の特徴	明治43年設立の歴史ある小学校。学区の教育目標として平成25年度に制定した校訓「志高く 美しく」のもと、「夢や志をもち、ともに未来を切り拓く子どもの育成」を学校教育目標として掲げ、地域と共に「夢や志をもち、その実現に邁進する子ども」「果敢に挑戦し、変化・成長する喜びを感じ、自分に自信をもつ子ども」「ふるさとの歴史を理解し、伝統と文化を誇りをもって語る子ども」を育成することを目指している。
地域の特徴	広島平和記念公園に程近い、市の中心部に位置する。東西に伸びる国道2号線と南北に伸びる市電の路線により、バスや市電を利用した各所への交通アクセスがよい。商店街を中心とした古くからの個人商店が多いが、近年、マンション建設等により新しい住民も増えている。地域の伝統と町民の和・絆を大切に、「とんど祭り」「神崎学区原爆死没者慰霊式」「町民運動会」などの地域行事が活発に行われている。

活動内容

### 特徴的な活動

#### 神崎版まちぐるみの教育「笑顔輝け！神崎っ子運動」

##### 「躰の三か条」と「神崎っ子の誓い」

- ・ 身に付けるべき躰やよい習慣、よりよい人生を送るための原則を学校・家庭・地域で共有する。
- ・ 幟旗やポスターを作成し、配付、設置することで、見える化を進め、まちぐるみで取り組む機運を高める。
- ・ 学校は、教育課程に位置付け、日常的・継続的に指導する。
- ・ 保護者は、朝の見守り活動（週2、3回 学区内）やあいさつ運動を実施し、地域で実践する。

##### 「わいわい神崎」の開催

- ・ PTA、地域団体による様々な体験の場を設ける。
- ・ 日曜参観に合わせて開催する。（毎年1回）



○地域団体と連携した取組により、地域行事・地域文化を子ども達へ継承する。

- ①「とんど祭り」  
(青少年健全育成連絡協議会主催)  
PTAが協力して、準備を行うとともに児童の参加を呼び掛けている。  
参加児童数（H29年度）  
前日準備：約80名 当日：約200名
- ②「神崎学区原爆死没者慰霊式」  
(原爆死没者慰霊式実行委員会主催)  
PTA役員が準備・運営に携わるとともに、全教職員・全児童が参加している。



○運営体制の工夫により負担軽減を図る。

「できる人が、できる時に」を合言葉に。当番変更の対応や行事のマニュアル化・簡素化などの取組を実施している。

### 成果

・「笑顔輝け！神崎っ子運動」や「躰の三か条」など、取組の柱・内容を具体化することで、学校・家庭・地域が連携して確実に取り組むことができている。その結果、児童の変容や教職員・保護者・諸団体役員意識の変化など一定の成果が見られた。  
・本取組は、小小連携、小中連携を通じて、中学校区4小中学校の取組となり、さらには広島市中区役所と校長会、地域団体が連携し、中区全体の取組として拡大している。

### 課題

・神崎学区の教育的風土をより一層、醸成するために、「躰の三か条」などの学校・家庭・地域が共有して取り組む内容の更なる徹底、長期的視野に立った取組の継続が必要である。

【広島県教育委員会生涯学習課】

# 柳井市立柳井南中学校PTA

## つながろう 広がろう 輝け 南中PTA

所在地：山口県柳井市

全校生徒数：44名

<b>学校の特徴</b>	昭和40年に阿月中学校と伊保庄中学校を統合して発足した長い伝統をもつ学校である。海と山に囲まれた良好な教育環境を生かし、校区内海水浴場の「クリーン作戦」や「アマモ学習」は学校の特色となる活動として定着している。
<b>地域の特徴</b>	本校区は、柳井市の海岸沿い南北に長く位置しており、校区内に小学校が二校ある。市内の他の地域と同じく、人口減少傾向が続いている。幕末に維新の志士を輩出した学塾があったこともあり、地域・保護者の教育に対する関心が高い地域である。地域コミュニティが確立しており、個人・団体を問わず、地域ぐるみで子どもを育てる意識が高く、学校を支援する地域の輪がある。
<b>活動内容</b>	PTA加入率100%であり、平成30年度は「進んで学び、組織をあげて地域とともにたくましく活動するPTA」を活動方針に掲げ、総務部、文化部、保体・教導部、地区理事、学級理事が中心となって活動している。PTAが地域に貢献し、学校・地域と協働できる体制を構築するため、地域の様子を熟知したPTA会長、副会長、民生委員が学校運営協議会の委員に委嘱されている。これにより、PTAが学校運営協議会と連携しやすい機動力のある組織となっている。

### <アマモ学習・・・漁業協同組合との連携>

アマモ学習は、瀬戸内海の自然を活用した環境保護活動で、稚魚の育成に大きな役割を果たしている。

この学習は、山口県エコリーダー活動の一つとして認定されており、漁業協同組合と長年にわたり連携をとって、継続している活動である。



### 特徴的な活動

#### <文化祭バザー>

文化祭当日、PTAの保体・教導部が中心となって、バザーが開かれる。バザーを通じて、学校と家庭と地域がネットワークを広げる場としている。元PTA会員が、PTA退会後も活動に参加していることが特徴である。



### <資源ゴミ回収>

年間を通じて資源ゴミ（新聞紙、雑誌、段ボール、アルミ缶）を回収することができるように、校舎内に回収ボックスを設けている。地域の要望により、昨年度から回収ボックスを正門近くにも設置した。PTA会長と学校長連名で呼びかけの文書を作成して配布している。



### 成果

- ・進路選択を控えた中学生が「将来なりたい大人の姿」を描く教育効果につながっている。
- ・若い世代の保護者が地域と交流するPTA活動を通じて、地域づくりを支える世代として、地域活性化の基盤づくりが可能となっている。
- ・学校課題について、家庭と地域が共通理解し、解決に向けた支援を多方面から受けることができるネットワークが構築された。

### 課題

- ・長年継続している活動については、活動の趣旨を再確認し、参加する地域住民の固定化と活動のマンネリ化に対応する必要がある。
- ・PTA活動を通じて、地域の中での世代間交流が更に進んでいくことが期待される。

# 徳島県立徳島科学技術高等学校PTA



## PTA活動の活性化をめざし、つながり、進化する徳島科技高PTA

### 学校の特徴

平成21年に徳島工業高校、徳島東工業高校、水産高校が発展的に統合し開校。工業科・水産科の6類11コースを設置し、進学希望者と就職希望者の両者を支援するハイブリット型教育システムを展開。平成25年度からスパークサイエンスハイスクール事業の指定を受け、科学的視点をもった技術者育成の教育プログラムを研究開発。平成29年度には国公立大学へ34名が進学(全国の工業科設置高校で第1位)。平成30年度に創立10周年を迎える。

### 地域の特徴

徳島市北部の中心市街地に隣接する住宅地に位置している。近隣に保育所や幼稚園、小学校、中学校、高等学校などの学校が多くあり、朝夕の児童・生徒の往来により活気ある地域である。地域の人たちも学校に協力的で、毎年、地域や近隣の保育所・幼稚園と連携した防災避難訓練を実施している。

### 学校との協働活動

#### ○文化祭・体育祭への支援

文化祭ではバザーの出店と生徒会と共同でスタンプラリーを実施。体育祭では熱中症対策としてドリンクなどを無償提供



#### ○交通安全指導の実施

毎月、学校安全の日に教員と一緒に学校周辺の危険箇所での立哨指導を実施

### 家庭教育等の学習活動

#### ○PTA研修会(進路研修)の実施

生徒個々の望ましい進路選択に向けて、毎年、大学・企業等訪問を実施

#### ○人権学習講演会への参加

本年度から人権学習講演会(3回)に参加し、教員との連携のもと生徒の人権意識の涵養を図る学習活動を支援

#### ○各種研修報告会の実施

全国PTA大会や県主催の家庭教育研修会などの研修成果を報告会で発表

### ○制服のリユース活動に関する活動

昨年度から卒業などで不要となった制服を集め、リユース活動を開始

#### ○オリジナルグッズの制作・提供

生徒からデザインを募集し、優秀作品を使ってオリジナルグッズを制作、学校の広報活動グッズとして提供

#### ○被災地や地域の幼稚園等への支援活動

生徒が製作した木工遊具や本立てと合わせて、絵本などを寄贈

### 成果と課題

本校PTAは、生徒の学校生活や学校の教育活動がより良くなるよう、制服のリユース活動やオリジナルグッズの制作など、新たな活動を展開し進化を続けている。また、各種研修会の成果報告会を行うなど、保護者同士がつながりを深め、家庭教育力を高めるために取り組んでいる。今後は、これまでの活動成果を継承し、主体性をなくすことなく、さらに活動を発展させていくことが大切となる。

所在地 徳島県徳島市北矢三町2丁目1-1

全校生徒数 887名



【徳島県教育委員会生涯学習課】

# 善通寺立筆岡幼稚園PTA

## <かかわりの中で すくすく育つ!>

所在地:香川県善通寺市中村町  
園児数:80名

園の特徴	かかわりを重視した環境の中で、遊びや生活を通して心豊かな子どもを育てる～主体的・対話的で深い学びの創造～をめざしています。
地域の特徴	香川県の西北部に位置し、南を琴平町、まんのう町、北を丸亀市、多度津町、西を三豊市に隣接する中讃地域の中核都市です。
活動内容	地域の各種団体活動やPTA活動が活発でまとまりがあり、子どもたちの健やかな成長のため、幼稚園と保護者、地域がつながって温かい雰囲気の中、豊かな教育実践を進めています。

### 特徴的な活動

- 基本的な生活習慣の育成  
「早寝・早起き・朝ごはん」「元気なあいさつ」等、子どもたちの基本的な生活習慣の育成をめざし、毎月の生活目標を決め、その評価を行う『がんばりっこ』票を活用している。その成果や課題を園だよりに掲載してさらなる啓発を行う等、PTAが園と家庭が連携して取り組んでいる。
- 交流による相互理解の促進  
運動会・発表会等の幼稚園の行事の運営に全面的に協力している。特に『親子夕涼み会』では、企画から運営まで自主的に活動している。これらの活動は保護者全員でかかわり、子どもを介して幼稚園・家庭・地域がつながり、お互いの交流を深める場になっており、相互理解のよい機会となっている。
- 地域の中で子育て  
「地域の宝である子どもたちの健やかな成長を支える」という共通した願いのもと、地域の行事には、積極的にかかわり、参加する等、各種団体との連携を大切に活動している。また、それらの活動を通じ、良好な人間関係づくりが進み、日常の活動を充実させることに大きく役立っている。



- 地域と連携した取組
  - ◇ 伝統文化「善通寺まつり」（筆岡踊り連）の継承  
地域の伝統行事である善通寺まつりの前に、毎年隣の小学校と連携し、地元の講師の指導のもと、園児、小学生、保護者が一緒に踊りの練習をしている。筆岡踊り連は団結力が強く、毎年まつりを盛り上げている。
  - ◇ 「野菜作り」体験と交流  
食を通して地域の食文化を理解したり、地域とのふれ合いを大切しようと、筆岡地区民生委員・児童員協議会からの助成金を活用し、季節ごとに野菜を育てている。その際地域の農家の方から野菜の育て方を教わったり、収穫を喜んだりし、子どもたちの成長を見守りながら交流を図っている。



### 成果

- ・ 園で大切にしていることや身に付けてほしいことを保護者に伝えることで、園と家庭が同じ思いで子どもたちにかかわることができている。
- ・ 地域行事への積極的な参加により、地域との協力体制が年々強化されている。


### 課題

- ・ 子どもたちがよい生活習慣を身に付けるため、保護者自身が主体的にその大切さや具体的な実践方法等を学ぶ機会、また子育てに対する喜びや悩みを相互に共有できるような機会を作りたい。

# 【愛媛県】 大洲市立新谷小学校 P T A

## 校訓のもと、「かいっぱい」がんばる子どもたちを応援するPTA活動

所在地：愛媛県大洲市新谷町甲190-2  
 全校児童数：215名

<b>学校の特徴</b> 	本校は児童数215名、PTA会員数168名の学校である。平成23年度に近隣2校の小学校と統合し現在に至っている。また、本校は新谷藩の陣屋跡にあり、敷地内には県指定有形文化財の「麟鳳閣」や樹齢600年の大洲市指定天然記念物「ムクエノキ」がある。平成24年度に、陣屋跡に合わせた和風デザインの校舎が新築され、児童は歴史と伝統のある豊かな教育環境の中で学校生活を送っている。
<b>地域の特徴</b>	愛媛県大洲市の東部に位置する新谷地区は、大洲藩の支藩・新谷藩1万石の陣屋町として発展した町で、今もなお、町並みには数々の陣屋跡を残している。また、漫画家の松本零士氏が、幼少期に母の実家であるこの地に疎開したという思い出の残る地であることから、毎年イベントが開催され、地域ぐるみでイベントを盛り上げている。

<b>活動内容</b>	<div style="background-color: #00b050; color: white; padding: 10px; border-radius: 10px; display: inline-block;"> <b>特徴的な活動・運営体制</b> </div>
-------------	---

### 【がんばる力、まとまる組織～6つの専門委員会活動～】

24名の学年委員（各学年4名）と15名の地区評議員を6つの専門委員会に配属し、地域の特色を生かした活動を積極的に行っている。また、会員意識を高め、連帯の輪を広げる活動を展開している。

- 総務委員会**：運動会バザー準備、販売 PTAバザー値段付け、販売
- 研修委員会**：研修委員会だよりの発行 趣味講座の計画運営
- 保健体育委員会**：校内球技大会の開催 運動会PTA種目の運営
- 思いやり人権委員会**：思いやり人権だよりの発行 人権・同和教育講演会計画運営
- 校外補導委員会**：危険箇所点検 街頭補導
- 広報委員会**：広報の編集、発行



### ○地域住民と連携した取組

◇子どもたちの安全を守る地域ぐるみの取組◇  
 毎年、危険箇所の点検を行い、危険箇所に赤旗を設置し、継続的に事故防止に努めるとともに、子どもへの有害物・危険物の追放撤去、環境整備も行っている。交通安全教室では、警察署職員や交通指導員、警察補助員を補助し、自転車の乗り方や正しい横断、歩行について指導を行っている。



### 広報委員会「PTA広報誌の発行」

魅力ある紙面構成になるよう話し合いを重ね、年3回発行している。PTA活動や行事の紹介だけでなく、毎年テーマを決めて特集を組み構成している。平成29年度は、えひめ国体・えひめ大会が開催されたことを受け、「国体にまつわるエピソード」を紹介した。



### 研修委員会「趣味講座」

会員が日々充実した生活を送れることを願って、毎年、趣味講座を行っている。平成29年度は「多肉植物の寄せ植え」を開催した。会員同士が和やかな雰囲気の中で親睦を深めながら、充実した研修を行うことができた。

## 成 果

- 専門委員会の活動内容を、総会や広報、学校ホームページ等、あらゆる機会を通して全会員に知らせることにより、それぞれの活動内容に興味や理解を示し、参加意識も高まり、所属感や連帯感が生み出されている。
- 親子で取り組む活動を多く取り入れることにより、参加率が増え、子どもと保護者、保護者同士の親睦や交流が図れている。

## 課 題

- 時代の変化に伴い、保護者の価値観が多様化する中、参加意識に差が生じている。活動内容によっては、二極化が生じ、常に参加率が高いというわけではない。全会員にとって魅力的な活動になるよう、常に内容の見直しをしていきたい。

# 香南市立夜須小学校PTA

## < 学校・家庭・地域が連携したPTA活動 >

所在地：高知県香南市夜須町西山13-2  
 全校児童数：児童135名

<b>学校の特徴</b>	平成18年、香南5町村の合併により香南市立夜須小学校となり、現在に至る。「郷土を愛し、豊かな人間性とたくましい力を持った実行力のある子どもを育てる」を学校目標に、夜須中学校区一貫教育の推進に向けて、系統性・継続性・適時性のある教育実践と地域の信頼に応える学校をめざしている。
<b>地域の特徴</b>	香南市の東部に位置し、南部は太平洋に面し、北部は四国山地の一部を構成している。南北を流れる夜須川を中心に豊かな水と緑に包まれている。地域には農業経営者が多く、トマト(フルーツトマト)やスイカ(ルナピエナ)、メロン(エメラルドメロン)が有名である。保護者や地域住民は地元に着心を持っており、学校活動に協力的である。すぐ近くに夜須中学校、夜須保育所、夜須幼稚園があり、夜須中学校区一貫教育の取組が行いやすい環境にある。
<b>活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部役員会を年間5～6回開催している。</li> <li>・3部会(事業部・生活厚生部・編集部)に分かれ、教職員も加わり各部で事業を企画し、実行している。</li> <li>・年間3回発行するPTA広報誌「おおみね」は、H26年度から毎年、県P連の広報誌コンテストで最優秀賞または優秀賞を受賞している。</li> </ul>

### 【家庭教育・学校教育に関する取組】

#### ◇親子読書会(生活厚生部)

・絵本の読み聞かせだけでなく、図書委員が企画した〇×クイズや、親子で参加できるゲームなどを実施している。小学校だけでなく保育所や幼稚園からも参加がある。  
 ＊参加人数・・・保護者・地域(約20名)  
 子ども・児童(約30名)



#### ◇PTAフェスタ(事業部)

・PTA事業部が企画・運営を行い、バザーや焼きそばなどの出店に加えて、ゲームなどを行っている。  
 ＊参加人数・・・保護者・地域(約50名)  
 子ども・児童(約150名)



### 特徴的な活動

### 【地域住民と連携した取組】

#### ◇高知県無形民俗文化財

##### 「手結盆踊・花取り」の継承

・夜須小中合同体育祭で、5・6年生と中学生が「花取り」の踊りを毎年披露している。地域の方とPTAが連携し、伝統文化の継承・振興を図ることを目的として、練習から本番まで協力しながら実施している。



#### ◇夜須町PTAスポーツ交流会

・夜須町まちづくり協議会の協力のもと12月に実施している。保幼小中の保護者・PTAが中心となり、幅広い世代や校種、地域との交流の場となっている。  
 ＊参加人数・・・約100名



### 成果

・広報誌(編集部)が充実してきたことにより、PTA活動や児童の様子を広く家庭や地域に知っていただき、地域の理解や協力を得ることにつながった。  
 ・PTA活動を通して、保護者同士や地域とのつながり、交流が広がることで、協力体制の維持・向上が図られている。

### 課題

・児童数の減少や共働き家庭の増加など、時代の変化に応じた参加しやすいPTA活動や組織改革を進めていく。  
 ・本部役員を引き受けてくれる保護者が少ないことや参加者の固定化がある。引き続き、保護者に理解を求めていく。